

ハロー

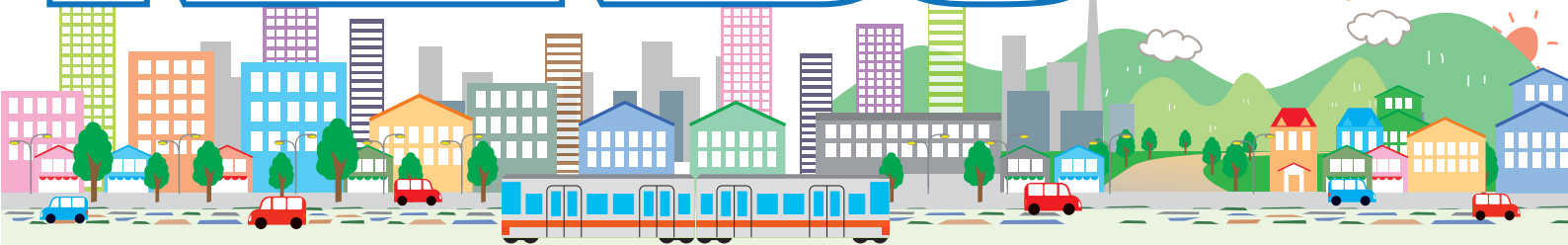
みず みち みどり

令和5年10月
vol.61

KENDO

けんど

西宮市
芦屋市
尼崎市



目

次

東川水系津門川 地下貯留管整備事業	2
武庫川の治水対策工事について	3
「兵庫県高潮対策 10 箇年計画」に基づく高潮対策	4
新川水門、新川・東川統合排水機場の整備	5
甲山森林公園のトイレが生まれ変わりました！	6
尼崎の森中央緑地と尼崎運河での取組み	7
information	8



津門川地下貯留管



丸島地区西護岸



新川水門



武庫川の護岸整備



甲山森林公園トイレリニューアル



尼崎の森中央緑地

東川水系津門川 地下貯留管整備事業

西宮土木事務所 河川砂防課

事業概要

東川水系津門川は、西宮市中央部を南北に貫流して東川に合流する延長約3.5kmの二級河川で、周辺は阪急西宮北口駅をはじめ、高度に都市機能が集積し、JR東海道本線、国道2号等の重要交通網が東西に横切っています。

過去から豪雨により浸水被害が度々発生しているため、県では周辺住民の命や暮らし、経済活動等への被害を軽減するための対策として、地下河川(シールド方式)の整備を進めています。現在、JR神戸線より北側の約1.7kmの上流区間を地下貯留管として先行整備しています。



工事の進捗状況

1 放流(発進)立坑

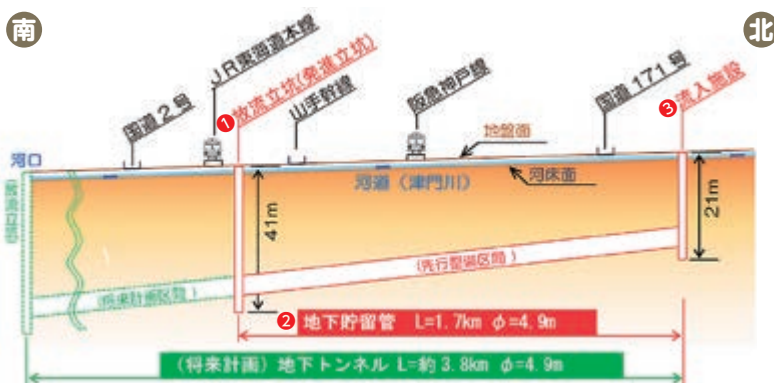
西宮市神祇官町の神祇官南公園につくる深さ約41mの立坑は、地下貯留管を掘削するためのシールドマシン等の資機材搬入や、工事完成後は貯留管に貯まった雨水を津門川本川に放流するための施設です。

令和3年8月より立坑の施工に着手し、令和4年5月には所定の深さまで掘削が完了しました。

2 地下貯留管

流入施設から流れ込んだ水を貯めておくための、内径4.9m、延長約1.7kmの地下トンネル施設で、貯留量は34,000m³になります。施工区間南側の放流(発進)立坑から北側の西宮市門戸荘地区に向かって、シールドマシンで掘り進めながらつくっていきます。

令和5年1月に掘削を開始し、令和5年8月末時点で約1.3kmの掘削が完了しました。



3 流入施設

西宮市門戸荘地区につくる施設で、津門川本川が一定の水位を超えると水が流入立坑を通じて地下貯留管に落ちていく構造になっています。

西宮市の都市計画道路門戸仁川線の整備事業も合わせて実施するため、津門川本川を暗渠化(ボックスカルバート)します。令和4年8月より門戸仁川線の一部通行止めを実施し、令和4年11月から本工事に着手しました。令和5年8月末時点で大半のボックスカルバートの設置が完了し、流入立坑の掘削が完了しました。



「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づく高潮対策

尼崎港管理事務所 高潮対策推進課

尼崎港管理事務所では、平成30年台風第21号による浸水被害の発生を受け、「兵庫県高潮対策10箇年計画」に基づき高潮対策を進めています。平成30年に浸水した範囲の再度災害防止対策は今年度末の完成を目指しています。主な対策は防潮堤の嵩上げ工事です。

高潮対策10箇年計画の概要

- 期間** 令和元年度～令和10年度
- 対策箇所**
1. 平成30年台風第21号の浸水箇所
 2. 高潮・津波対策事業を実施中の箇所
 3. 防潮堤等の高さが大きく不足(概ね50cm以上)する一連区間のうち、背後に住宅や工場・企業が集まっている箇所
- 対策延長** 兵庫県下51.3km(うち阪神地域は33.7km 全体の約2/3)



主な工事箇所の状況

完成箇所



①丸島地区西護岸(尼崎)



②鳴尾浜地区東護岸(西宮)



③甲子園浜地区西護岸(西宮)



④南芦屋浜地区北護岸(芦屋)



⑤南芦屋浜地区西護岸(芦屋)

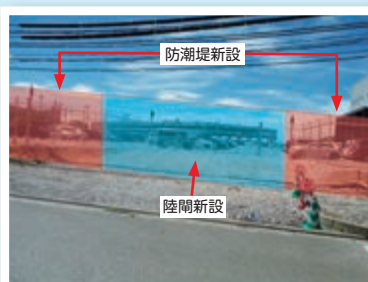


⑥宮川下流地区(芦屋)

工事中箇所



⑦甲子園浜地区西護岸(西宮)



⑧甲子園浜地区陸開(西宮)



⑨新川・東川統合排水機場(西宮)

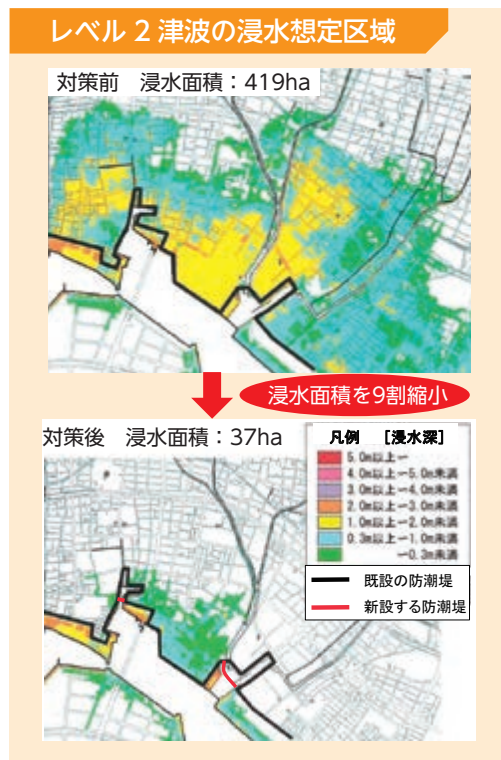
新川水門、新川・東川統合排水機場の整備



尼崎港管理事務所 河川整備課

西宮市の南部を流れる新川と東川の河口部では、高潮時の浸水被害、南海トラフ地震等の発生に伴う最大クラスの津波、既設の新川排水機場および東川排水機場の老朽化などに対応するため、新たな水門と防潮堤、新川・東川統合排水機場の整備を進めています。

特に新川・東川統合排水機場は、高潮時の浸水被害を解消するため、老朽化した2つの排水機場を1つに統合して、排水能力を60m³/sから111m³/sと約2倍に増強します。



新川水門

現地状況(令和5年9月5日撮影)

- 水門は、令和3年12月に完成しました
- 平常時は、船が水門を行き来するため、扉体は上がったままとなっており、船のマスト等が扉体に当たらずに通れる高さを確保しています

今津灯台の移設

灯台移設の様子(令和5年9月1日撮影)

- 江戸時代に建てられた現役最古の木造灯台を移設しました
- 灯台があった場所は、増水した川の水を統合排水機場に流す水路になります



統合排水機場の概要

- ▶ポンプ形式は、ディーゼルエンジンの縦軸斜流ポンプを4台設置します
- ▶ポンプ能力は、4台合わせて111m³/sとなります

甲山森林公園のトイレが生まれ変わりました！



西宮土木事務所 河川砂防課

甲山森林公園
ホームページ



甲山森林公園について

県立甲山森林公園は、六甲山の東端に位置し、豊かな自然と地形を生かして、「兵庫県政100年」の記念公園として昭和45年に開園しました。平成30年には、甲山森林公園の一部(仏性ヶ原)が「大坂城石垣石丁場跡 東六甲石丁場跡」として国指定史跡に指定されました。

トイレリニューアル工事(令和5年3月完成)

令和5年3月に、全てのトイレのリニューアル工事が完了しました。この工事では、主に内装をリニューアルし、おむつ替えシート完備、和式トイレからきれいな洋式トイレへと生まれ変わりました。是非ご利用ください。(8号トイレについては、和式トイレを洋式トイレにする工事のみとなります。)



- 1～8：トイレリニューアル(令和4年度迄)
- 甲山なかよし池 木製デッキ・木道改修(令和5年度～)

■ 尼崎の森中央緑地と尼崎運河での取り組み



尼崎港管理事務所 尼崎21世紀プロジェクト推進室

尼崎臨海地域は古くは美しい砂浜の景観があり、縦横に走る運河と河川により水運が発達していました。高度成長期にはその水運を港湾物流機能や産業機能として活用し阪神工業地帯の中核を担ってきました。しかし、産業構造の変化に伴って工場などの遊休地の発生や水運機能の役割低下により地域の活力が衰退し、その再生が急務になっています。

そこで兵庫県では、尼崎臨海地域を魅力と活力あるまちに再生するため、人々の暮らしにゆとりと潤いをもたらす水と緑豊かな自然環境の創出による環境共生型のまちづくりを目指して、「尼崎21世紀の森構想」を平成14年(2002年)3月に策定しました。

この構想に基づいて、平成18年に先導拠点地区として「尼崎の森中央緑地」の供用を開始し生物多様性にこだわった100年の森づくりを行っています。また尼崎運河の北堀運河においては平成20年より21世紀尼崎運河再生プロジェクトとして、水質浄化施設などの整備を行い環境学習やイベントを行っています。



尼崎の森中央緑地と尼崎運河の位置



尼崎の森中央緑地が自然共生サイトに認定(令和5年10月)!



森づくり開始から17年経過した尼崎の森中央緑地(北東より俯瞰写真)

自然共生サイトとは、2030年までに国土の30%以上を自然が守られている地域とする世界目標(30by30)を達成するために、国の新しい自然を守る手段として、生物多様性の保全が図られている区域を国が認定するものです。

尼崎の森中央緑地が武庫川水系等の地域限定の種からの森づくりを、県民の参画と協働で持続的に行い、様々な昆虫や鳥類も生息するまでに森が成長していることを評価されたものです。



森づくり開始から17年経過した尼崎の森中央緑地(南よりドローン俯瞰写真)

自然共生サイトについての詳細は下記より

<https://policies.env.go.jp/nature/biodiversity/30by30alliance/kyousei/>



キバラハキリバチ
環境省レッドリスト

昆虫



コサメビタキ

兵庫県レッドリスト

鳥類



「運河をめぐるばなんとキャナル！」

尼崎運河クルーズ&環境学習フェスティバルの開催

(令和5年9月)

運河クルーズが人気を集め、大阪・関西万博のひょうごフィールドパビリオンのプレミア・プログラムにも選定されるなど、今まさに注目を集める尼崎運河。その北堀運河のキャナルベース周辺で、運河クルーズを集中開催し、運河の魅力を発信するイベントを9月23日に開催しました。

イベント会場では、尼崎21世紀の森構想エリア内で実施されている環境学習の取組を一堂に紹介するブースも出展し、その魅力をアピールしました。



尼崎運河クルーズ



環境学習ブース



西宮土木事務所・尼崎港管理事務所のSDGsの取り組みについて

兵庫県では令和4年度から本格的にSDGsの取り組みを始めました。

西宮土木事務所と尼崎港管理事務所では、SDGsの取り組みを紹介するポスターを作成し、事務所や工事現場等に掲示しています。

西宮土木事務所は SDGsに取り組んでいます



- Action1 武庫川、津門川等の総合治水対策や六甲山系での土砂災害対策に取り組んでいます
- Action2 社会経済活動を支える幹線道路の4車線化や道路ネットワークの構築に取り組んでいます
- Action3 歩行者、自転車の快適な通行空間の確保に向けた、通学路安全対策や自転車通行空間整備に取り組んでいます
- Action4 下水道や公園施設の更新・維持管理を計画的に行い、自然環境の保全や再生に取り組んでいます
- Action5 県・市・県民が協働して、“街路樹リノベーション”や“ひょうごアダプト”の取り組みを推進しています

尼崎港管理事務所は SDGsに取り組んでいます



- Action1 新川・東川や尼崎市東海岸町等で南海トラフ地震等に備える地震・津波対策に取り組んでいます
- Action2 甲子園浜や枝川町、芦屋浜で台風災害等に備える高潮対策に取り組んでいます
- Action3 地域経済を牽引する企業が円滑に立地できるよう、フェニックス事業用地の整備に取り組んでいます
- Action4 自然環境の保全と再生を推進し、尼崎21世紀の森づくりに取り組んでいます
- Action5 水や緑にふれあえる魅力ある親水空間の創出を推進し、21世紀の尼崎運河再生プロジェクトに取り組んでいます